

No	施策名		H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)			
	事務事業コード	事務事業名		事務事業の目的	内 直接事業費				1 担当部課名		
			R1決算額(円)								
			内 直接事業費	4 有効性評価							
			内 人件費	5 効率性評価							
1	参加と協働の推進		11,719,085	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働を推進するため、市民協働まちづくり事業補助金や啓発活動を実施している。 ・補助制度の内、チャレンジ支援、人材養成活動補助金は応募が少ない状況となっている。そのため、市民活動のニーズに合った制度設計が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働まちづくり会議を主体に、市民協働や参画の仕組みについて啓発を実施した。 ・補助金制度については、応募要項の見直し、制度改正の検討を行った。(補助実績:4団体、新規団体2団体の実績) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働や市民参加を一層推進するため、各種制度の見直しや市民ニーズに適した推進方策を検討する。 ・補助金制度については、より利用し易い制度への見直し、啓発については一層分かりやすい市民参加のPR方法などについて検討する。 			
	10101010		1,564,227	1 企画部 企画課							
	協働のまちづくり体制確立事業	田原市市民協働まちづくり条例に基づき、総合的な協働体制の構築、市民公益活動のきっかけづくりの支援等により、市民協働のまちづくりを推進する。	10,154,858	2 大羽 浩和							
			6,708,778	3 高い							
			1,941,944	4 高い							
		4,766,834	5 普通								
				改善の効果	普通						
2	参加と協働の推進		106,639,321	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 自治会等の地域コミュニティ団体は、地域に応じた活動を行っており、その自主的な地域づくり活動を推進するため、継続した支援策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各コミュニティ協議会へのまちづくりアドバイザー(3名)の派遣、市からの依頼業務への協力費及び地域活動に必要な運営費の助成を行うことで、地域活動の維持及び促進が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き人的支援、財政的支援を行うことで、地域活動の活性化を図る。 			
	10103010		99,678,000	1 総務部 総務課							
	コミュニティ活動支援事業	地域住民自らの創意工夫と共助による「みんなで支えあう暮らしやすいまち」を実現するため、市民協働の基礎的団体として位置付けている地域コミュニティ団体の活動を支援する。	6,961,321	2 鈴木 洋充	3 極めて高い						
			99,102,000	4 高い							
			4,902,069	5 高い							
				改善の効果	高い						
3	参加と協働の推進		36,678,389	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 自治会等の地域コミュニティ団体は、地域に応じて必要な施設整備や備品購入等を行っており、地域コミュニティ団体のニーズに則した支援策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に必要な施設等の整備に係る費用を支援することで、地域の活動基盤の維持及び強化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続した支援制度により、地域の活動拠点整備、充実、地域の強化を図る。 			
	10104010		32,418,000	1 総務部 総務課							
	コミュニティ施設等整備支援事業	地域住民自らの創意工夫と共助による「みんなで支えあう暮らしやすいまち」を実現するため、地域コミュニティ団体の活動拠点となる施設等の整備を支援する。	4,260,389	2 鈴木 洋充	3 高い						
			30,424,000	4 高い							
			4,479,214	5 高い							
				改善の効果	高い						
4	参加と協働の推進		7,507,040	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の自立と活動の充実を図るため、市民活動支援センターを設置し、市民活動団体に運営委託している。 ・センターの認知度、活用実績が低いため、情報発信の手法や業務内容を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センターの特色・自主性を高めるため、「しみんのひろば(イベント)」の開催を委託業務に追加した。 ・また、センター自ら活動団体に、取材やアウトリーチを行い、認知度の向上に努め、SNS等で発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センターでの情報発信の充実、しみんのひろばの企画運営を含め、センター運営の充実を図る。 ・ボランティア活動センターとの連携など、活動組織間との連携の拡大・強化を図るとともに、人材育成に努める。 			
	10105010		1,138,997	1 企画部 企画課							
	NPO活動振興事業	市民協働によるまちづくりを推進するため、NPO等の市民活動団体に対する情報提供や活動情報の発信等を支援する。	6,368,043	2 大羽 浩和	3 高い						
			1,170,660	4 高い							
			4,620,898	5 高い							
				改善の効果	高い						
5	参加と協働の推進		6,400,038	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・啓発業務については、市民提案に基づき市民活動団体に委託している。 ・市民にも、徐々に男女共同参画という「言葉」や「意識」が浸透しつつあるが、まだまだ馴染が薄いため、しっかり推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座を開催し(委託、3回)、LGBT等多様化する社会ニーズについて理解を深めた。 ・毎年男女共同参画フェスティバルを開催。H30年度からは市民劇団による男女共同参画テーマにした演劇公演を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画への意識をより高めるため、男女共同参画推進プランIIに基づき、一層の啓発活動や市民のスキルアップに努める。 ・また、男女共同参画フェスティバルでは、市民が参加しやすい環境づくり、意識が芽生える啓発手法等について検討する。 			
	10106010		333,994	1 企画部 企画課							
	男女共同参画推進事業	田原市男女共同参画推進プランに基づき、市民、各種団体、事業者及び行政の連携により男女共同参画社会の実現を図る。	6,066,044	2 大羽 浩和	3 高い						
			551,507	4 高い							
			5,818,004	5 高い							
				改善の効果	普通						

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
	事務事業名														
6	地域防犯・交通安全の推進	市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、防犯囁託員の青色バトロールカーによる地域巡回や、各地区、各種団体への防犯講習等を実施し、警察、防犯協会連合会との連携による防犯啓発活動や防犯に関する情報発信等を実施する。	32,518,213	事務事業評価					犯罪の認知件数は減少傾向にあるが、無施錠による侵入盗や車上狙い、自転車盗、特殊詐欺等の犯罪が発生しているため、防犯意識が浸透するよう、啓発活動を継続的に実施する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまちづくり推進協議会を開催し、各団体の取組紹介や情報交換を行った。 ・防犯囁託員4人による地域巡回を行った。 ・警察・防犯協会と連携した防犯キャンペーンの実施などにより、車上ねらい、自動車盗が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体と連携した防犯活動を継続して実施し、市民の防犯意識の向上に努めるとともに、地域の見守り活動を拡充し、犯罪被害の防止を図る。 ・防犯指導員による地域巡回を継続して実施し、犯罪抑止に努める。 				
	10201010		19,333,855	1	総務部 総務課										
	防犯啓発・地域巡回事業		13,184,358	2	鈴木 洋充										
			30,449,508	3	高い										
			19,308,984	4	高い										
	11,140,524	5	高い												
				改善の効果		普通									
7	地域防犯・交通安全の推進	地域住民自らの創意工夫と共助による「みんなで支えあう暮らしやすいまち」を実現するため、地域コミュニティ団体の防犯施設の整備を支援する。	6,202,155	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪を防止するために地域が整備する防犯施設に対して支援が必要である。 ・防犯灯の長寿命化のためにLED化を促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域要望に基づき、防犯灯の新設(55)に必要な経費の補助を行い、地域防犯力の向上が図られた。 ・防犯灯のLED化等(173)に必要な補助を行い、長寿命化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域や現地の状況にあった防犯灯設置等に対する補助を行い、防犯力の向上を図る。 ・引き続き防犯灯のLED化を促進する。 				
	10202010		3,475,000	1	総務部 総務課										
	地域防犯施設整備支援事業		2,727,155	2	鈴木 洋充										
			7,631,714	3	高い										
			3,401,000	4	高い										
	4,230,714	5	高い												
				改善の効果		高い									
8	地域防犯・交通安全の推進	地域コミュニティ団体や警察等と協力し交通安全街頭指導活動や街頭キャンペーン等を行うことにより、市民の交通安全に対する意識の高揚を図り、交通事故防止に努める。また、高齢運転者が自主的に運転免許証を返納するきっかけとなるよう支援を行う。	6,740,610	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、平成30年の死亡事故は5件となり、前年より増加した。 ・市民、関係団体、行政が一体となった交通安全意識の高揚と、交通ルール順守の普及を行い、交通事故の減少、特に高齢者の交通事故抑止を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、警察、交通安全推進協議会等と連携し、歩行者保護を重点とした街頭指導、街頭キャンペーン、事故情報の配信等を行い、令和元年度の死亡事故は0件だった。 ・高齢者に対する運転免許証自主返納支援制度を推進し(制度利用者167人)、交通事故抑止が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡・軽傷・物損事故は平成30年に比べ減少したが、重傷事故は7件で、横ばいの状況であった。 ・警察、関係諸団体と連携し、継続的に交通ルール順守の普及を行い、交通事故の減少を図り、特に高齢者の交通事故抑止を図る。 				
	10203010		3,544,808	1	総務部 総務課										
	交通安全啓発事業		3,195,802	2	鈴木 洋充										
			8,348,452	3	高い										
			3,958,767	4	高い										
	4,389,685	5	普通												
				改善の効果		普通									
9	地域防犯・交通安全の推進	市内全小学校区に交通指導員を配置し、児童の登下校時の事故防止を図るとともに、園児を対象とした交通安全教室の実施や各種交通安全イベントへの参加等、交通安全啓発活動を実施する。	33,320,850	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・児童の登下校時の交通安全指導及び園児の交通安全教室等を行い、事故防止と交通安全意識の定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校区に交通指導員(24人)を配置し、児童の登下校時における交通安全指導を実施した。 ・交通指導員による園児を対象とした交通安全教室を開催し、現実の交通事情に合わせた交通安全教育を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員による児童の登下校時の交通安全指導や見守り、園児への交通安全教室を継続実施し、交通事故防止と交通安全意識の定着を促進する。 				
	10203020		236,592	1	総務部 総務課										
	交通指導事業		33,084,258	2	鈴木 洋充										
			33,907,811	3	極めて高い										
			156,954	4	高い										
	33,750,857	5	普通												
				改善の効果		普通									
10	地域防犯・交通安全の推進	交通公園施設の利用を通して、交通安全に関する知識及びルールを身につけられるように、交通公園の適切な管理運営を行う。	3,043,478	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・主に保育園、小学校等の交通安全教室に利用される外、土曜日、日曜日、祝日に一般開放している施設であり、適切な施設管理を行うとともに、公園内の交通体験を通じて安全意識の高揚を図る必要がある。 ・設備や乗り物に故障や破損が発生しているため、施設の機能保持と利用者の安全確保を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターへ施設管理を委託し、交通公園の開放を行った。 ・公園利用を通じ、子どもたちへ道路における危険や、交通ルールの大切さを学ぶ機会を提供し、交通意識の高揚が図られた。 ・故障や破損に対して修繕を行い、施設の機能保持と利用者の安全確保を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設の適切な維持管理を行う。 ・定期的な公園のPPRを行い、利用促進を図る。 				
	10203030		1,362,099	1	総務部 総務課										
	交通公園運営事業		1,681,379	2	鈴木 洋充										
			2,474,663	3	普通										
			1,433,934	4	普通										
	1,040,729	5	普通												
				改善の効果		普通									

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名					
	事務事業名		R1決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価				
			内 人件費						
16	環境保全の推進	田原市環境保全計画の推進と進行管理及び、各種関連計画の総合的な推進を図る。	33,079,206	事務事業評価		・田原市の環境状況を把握するため、水質、大気、振動・騒音といった生活環境に関する各種測定を実施している。 ・堆肥製造事業所や野焼き等の悪臭に対する苦情が多い。	・環境に関する報告書を作成し、HPIにて公表。市民に対して環境への意識付けを行った。 ・環境パトロールにより、堆肥製造事業所の定点監視、堆肥の適正散布呼び掛けを実施。苦情発生時には速やかに現場を確認し、原因の特定、適正な指導を行った。	・水質、大気汚染、騒音・振動調査等を継続して行い、現状把握に努め、健全な生活環境の保全を図る。 ・悪臭課題については、今後も関係各課と協力して堆肥製造事業所の適正管理、堆肥の適正散布に対する理解を図るとともに、原因者に対して適正な指導を行う。	
	10402010		10,294,547	1 市民環境部 環境政策課					
	環境保全対策事業		22,784,659	2 伊藤 弘子					
			36,480,725	3 高い					
			9,861,414	4 高い					
		26,619,311	5 普通						
						改善の効果	高い		
17	環境保全の推進	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の普及推進を図る。	6,118,537	事務事業評価		合併処理浄化槽整備支援は下水道等の整備対象区域外の地域に居住する市民の生活環境整備対策として実施していく必要がある。下水道等の普及率は95%を超えており、申請件数は横ばい状態である。	令和元年度から財源となる国県費の制度変更があり、新設等が一部助成の対象外となったが、引き続きこれまでどおりの整備支援を行った。ホームページや広報誌で補助制度の周知を図った。	下水道の計画区域外における定住化促進の観点から、引き続き適正な助成を推進していく。	
	10402020		3,813,320	1 上下水道部 下水道課					
	合併処理浄化槽整備支援事業		2,305,217	2 川口 容央					
			7,293,492	3 高い					
			4,513,733	4 高い					
		2,779,759	5 普通			改善の効果	普通		
						改善の効果	普通		
18	環境保全の推進	中小企業者及び畜産事業者等が行う公害防除施設等の整備事業に対し事業費助成を行うことにより、公害防止を推進する。	9,078,538	事務事業評価		・公害防止施設等整備費補助金(補助率100分の15、限度額200万円)の交付。 ・補助金周知のため、広報紙とHPへの掲載を実施している。	漬物製造業者1者から水質汚濁防止施設に調整槽を新規に設置する申請があった。	事業者に補助金を交付するだけでなく、事業者が公害防止施設の適正な管理をすることを指導し、公害の発生防止抑制を図る。	
	10402080		860,000	1 市民環境部 環境政策課					
	発生源対策整備支援事業		8,218,538	2 伊藤 弘子					
			3,067,666	3 普通					
			2,000,000	4 普通					
		1,067,666	5 普通			改善の効果	高い		
						改善の効果	高い		
19	衛生対策の推進	利用者への安定したサービスを行うため、田原・渥美両斎場、葬祭場及びペット火葬場の適正な維持管理と修繕工事を行う。	64,256,478	事務事業評価		・施設が老朽化しており、定期的に火葬炉の修繕を実施している。 ・安定したサービスの提供のためには、定期的な火葬炉修繕工事と施設の維持管理及びその他修繕が必要である。	・田原斎場及び渥美斎場の火葬炉修繕工事を実施し、安定した火葬業務を実施した。	・新斎場建設までは、適正な工事、維持管理を実施し、安定したサービスに努める。 ・新斎場供用開始後は、新斎場に適した維持管理を実施し、安定したサービスに努める。	
	10501010		33,831,348	1 市民環境部 環境政策課					
	斎場運営事業		30,425,130	2 伊藤 弘子					
			61,215,557	3 極めて高い					
			33,776,412	4 高い					
		27,439,145	5 高い			改善の効果	高い		
						改善の効果	高い		
20	衛生対策の推進	老朽化した斎場施設の建替えを行うため、建設に向けた業務を行う。	236,853,055	事務事業評価		・老朽化した現在の両斎場を、田原に集約して建替えるため事業を推進中。 ・新斎場稼働時の運営方針を決定する必要がある。	・斎場建設地の第1期造成工事を実施した。 ・新築工事及び火葬炉設備工事等関連工事に着工し、次年度にかけて工事を実施した。	・新斎場の附帯工事及び旧田原斎場解体工事を、次年度にかけて施工する。 ・新斎場稼働後の渥美斎場の、解体や跡地利用について検討する。	
	10501030		221,697,033	1 市民環境部 環境政策課					
	斎場整備事業		15,156,022	2 伊藤 弘子					
			758,380,187	3 極めて高い					
			736,267,640	4 高い					
		22,112,547	5 高い			改善の効果	高い		
						改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
21	衛生対策の推進	生活衛生事業 防除活動及び衛生害虫駆除活動を推進し、公衆衛生の向上を図る。 水道・井戸等の衛生管理や食中毒の予防対策を行い、公衆衛生の向上を図る。	3,083,741	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒警報発令時の市民への周知や、害虫駆除用消毒機の貸し出しを実施した。 ・専用水道、井戸等の適正な管理を推進するため、水道施設の立入検査や啓発を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専用水道、簡易専用水道の立入検査を実施し、検査、衛生管理指導を実施した。(17件) ・地下水汚染が発生したため、周辺飲用井戸の水質調査を実施するとともに、飲用指導を行った。(調査井戸3か所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒警報発令時に同報無線により周知し、予防に努める。 ・災害発生時の防疫活動を実施する。 ・専用水道、簡易専用水道の衛生指導を計画的に実施する。 				
	10502010		177,895	1	市民環境部 環境政策課	2,905,846	2	伊藤 弘子							
	4,365,145		3	高い											
	267,476		4	高い											
	4,097,669		5	普通	改善の効果	高い									
22	衛生対策の推進	狂犬病予防対策事業 狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止するため、狂犬病予防法に基づき犬の登録・管理と予防注射を行う。 関係機関と連携して野犬対策を行う。	7,122,723	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射の実施率は、ほぼ横ばいである。(R1年度91.1%) ・野犬は捕獲が難しく、特に成犬は捕獲器を設置してもなかなか捕獲できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射の通知、未実施者への再通知を発送し、実施率の向上に努めた。 ・狂犬病予防注射実施頭数 3,495頭 ・新規登録頭数 276頭 ・動物保護管理センター捕獲頭数 22頭 	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射の実施率の向上を図る。 ・動物愛護センター(R2年度より名称変更)と連携し、野犬対策に努める。 				
	10502020		1,304,594	1	市民環境部 環境政策課	5,818,129	2	伊藤 弘子							
	7,661,485		3	高い											
	1,322,135		4	高い											
	6,339,350		5	普通	改善の効果	普通									
23	資源循環の推進	ごみ減量・資源化推進事業 廃棄物の適正処理及び減量化等を推進するため、PR等により住民意識の向上を図り、ごみ分別の徹底や資源の再利用を促進する。	96,977,349	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量・資源化を推進するため、ごみの分別説明会を実施している。 ・もやせるごみは過去最低の搬入量となった。 ・ごみ処理の広域化を推進するため、具体的な内容を調整する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの3Rの推進やごみの分別方法について、各種団体に対して説明会を実施した。 ・ごみステーション巡回指導を通じ、市民に対してごみ分別方法の理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより分かりやすくごみ出できるよう、分別について検討する。 ・広域ごみ処理施設の整備を進めるにあたり、施設建設・運営管理する事業者の選定、広域施設の運営体制を検討する。 				
	10601010		69,585,824	1	市民環境部 廃棄物対策課	27,391,525	2	藤井 透							
	97,068,521		3	極めて高い											
	69,623,948		4	極めて高い											
	27,444,573		5	高い	改善の効果	普通									
24	資源循環の推進	ごみ収集事業 ごみステーション等に出された一般廃棄物の分別収集を行い、ごみの減量化及び資源ごみの再利用を促進し、生活環境の向上を図る。	307,191,493	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・ステーション方式により分別収集し、ごみ減量化や資源ごみの再利用に向け、資源ごみの分別回収に積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望等により、ごみステーションの移設、増設及び整備を図った。 ・台風によって集塵箱が横転する事例を受け、集塵箱の設計を変更し、転倒防止を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、資源ごみの再利用を推進するため、排出方式や収集頻度、収集方式等、随時見直しを行う。 ・広域ごみ処理施設の整備を進めるにあたり、収集運搬距離が変動し、従来より経費や環境負荷増大が懸念されるため、収集運搬の効率化を図る。 				
	10602010		296,587,711	1	市民環境部 廃棄物対策課	10,603,782	2	藤井 透							
	318,623,138		3	極めて高い											
	307,839,847		4	高い											
	10,783,291		5	普通	改善の効果	普通									
25	資源循環の推進	不法投棄防止対策事業 不法投棄を防止するため、不法投棄防止対策や啓発により住民意識を向上し、生活環境の保全を図る。	9,023,414	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・バトロールや看板設置、広報でのPR等を実施しているが、まだまだ不法投棄が後を絶たない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄やポイ捨ての抑止力として、市内バトロールの実施や不法投棄されたごみの回収を行うとともに、看板設置・広報等により不法投棄防止に対する啓発を行った。 ・環境省から監視カメラを借受け、取締りを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市内バトロールと啓発による意識向上を図る。また、不法投棄の多い地域は、重点的にバトロールを実施するとともに、監視カメラを設置し取り締まる。 				
	10602020		977,646	1	市民環境部 廃棄物対策課	8,045,768	2	藤井 透							
	7,423,072		3	普通											
	943,750		4	普通											
	6,479,322		5	普通	改善の効果	普通									

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
26	資源循環の推進	・田原リサイクルセンター(炭生館)から搬出される固形飛灰及び焼却残渣の埋立処理を行う。 ・最終処分場の浸出水を処理するため、処理施設を適正に運転管理し、処理水を公共下水へ放流する。	18,611,297	事務事業評価					・炭生館から搬入される焼却残渣の受け入れ処理を計画的に実施している。 ・処理施設の維持管理を行っている。	・水処理施設設備の修繕を実施し、搬出水の適正処理に努めた。	・計画に沿って埋立処理作業を進める。 ・処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。				
	10603010		14,133,849	1	市民環境部 廃棄物対策課	4,477,448	2	藤井 透							
	第二東部最終処分場運営事業		19,082,257	3	高い	14,599,601	4	高い							
			4,482,656	5	普通										
												改善の効果	普通		
27	資源循環の推進	搬入される割れガラス、陶磁器等の不燃ごみの埋立処理を行うとともに、施設内から排出される浸出水を処理するため、処理施設を適正に運転管理する。	14,252,975	事務事業評価					・処分場に搬入されるごみの適正化に努め、埋めるごみの減容化を図る。 ・水処理施設や重機が経年劣化しているため適切な維持管理や更新を図る。	・搬入ごみの分別・指導を行い、搬入ごみの適正化をおこなった。 ・水処理施設設備の修繕及び更新を実施し、排水水の適正処理に努めた。	・引き続き処分場の減容化を図るため、搬入ごみの適正化に努める。 ・処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。				
	10603020		10,812,697	1	市民環境部 廃棄物対策課	3,440,278	2	藤井 透							
	渥美最終処分場運営事業		10,235,480	3	高い	8,569,025	4	高い							
			1,666,455	5	普通										
												改善の効果	普通		
28	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、搬入廃棄物を選別処理により資源物、可燃物、不燃埋立物に分け、粗大ごみを破砕機により破砕選別処理を行い、減量化、資源化を図る。	84,747,040	事務事業評価					・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別・選別し、資源の再利用化及び埋めるごみの減容化を図る。	・搬入ごみの分別・指導を行い、搬入ごみの適正化を行った。 ・水処理施設設備の修繕を実施し、搬出水の適正処理に努めた。	・処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。				
	10603030		52,638,714	1	市民環境部 廃棄物対策課	32,108,326	2	藤井 透							
	東部資源化センター運営事業		75,885,072	3	高い	47,568,024	4	高い							
			28,317,048	5	普通										
												改善の効果	普通		
29	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理、剪定枝・草等のチップ化処理及び不燃ごみ等の埋立処分を行い、減量化、資源化を図る。	84,084,019	事務事業評価					・目的に沿った事業運営を行っているが、当センター内の各施設とも経過年数により老朽化しているため、計画的な維持修繕が必要である。	・水処理施設設備の修繕を実施し、排水水の適正化を行った。 ・剪定枝木類の一部有料化実施により受け入れ体制を整備し、効率的な施設運営を行った。	・当センター内のごみ焼却施設が役割を終え停止していることから、廃止に向けての跡地利用を考慮した施設整備方針を検討する。				
	10603040		59,442,865	1	市民環境部 廃棄物対策課	24,641,154	2	藤井 透							
	赤羽根環境センター運営事業		95,780,769	3	高い	68,094,012	4	高い							
			27,686,757	5	普通										
												改善の効果	普通		
30	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの適正な分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理及び不燃ごみ等の最終処分場への搬出処理(埋立処分)を行い、減量化、資源化を図る。	27,170,146	事務事業評価					・粗大ごみの搬入量が多く、保管場所の確保と粗大ごみの分解処理に苦慮している。	・粗大ごみを東部資源化センターへ搬出する回数を増やし処理をした。 ・粗大ごみの分解処理は、処理困難なものは工具の整う東部資源化センターへ週一回送致した。 ・分解のために破砕工具等のメンテナンスを適切に実施し、事業の円滑化に努めた。	・東部資源化センターや炭生館と連携を密にし、ごみの送致を円滑に実施する。				
	10603050		13,581,080	1	市民環境部 廃棄物対策課	13,589,066	2	藤井 透							
	渥美資源化センター運営事業		29,960,977	3	高い	13,620,307	4	高い							
			16,340,670	5	普通										
												改善の効果	普通		

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
31	資源循環の推進	個人家屋の解体等により排出された産業廃棄物の埋立処理と維持管理を行う。	9,761,760	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の埋立処分が完了し、返還を目指して地元と調整している。 維持管理を行うとともに、浸透水等の水質検査を実施している。 覆土が足りないので今後も建設残土等の受け入れを行う。 	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)				
	10603060		8,698,298	1	市民環境部 廃棄物対策課	1,063,462	2	藤井 透							
	片浜埋立処分場運営事業		4,495,163	3	高い										
			2,131,821	4	普通										
			2,363,342	5	普通										
改善の効果		高い													
32	資源循環の推進	PFI事業により、もやせるごみの炭化処理を民間事業者へ委託し、ごみの再資源化を図る。	695,383,604	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> PFI事業により、もやせるごみの炭化処理を(株)グリーンサイトジャパンに委託している。運営・維持管理等モニタリング業務については、民間業者に委託している。 令和元年度でPFI事業期間終了となるため、豊橋市との広域ごみ処理施設整備を見据え、炭生館の施設・設備の延命措置を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングにより運営状況や維持管理状況を確認した。 PFI事業期間終了後の新事業実施に係る条件整理や事業の引継ぎ方法及び契約条件について検討し、令和6年度まで市直営(委託業務)による延命措置を実施した。 	令和元年度までモニタリング業務は民間業者に委託していたが、令和2年度以降は市職員で実施していくことで経費を削減する。				
	10603080		692,593,752	1	市民環境部 廃棄物対策課	2,789,852	2	藤井 透							
	田原リサイクルセンター運営事業		1,363,707,969	3	極めて高い										
			1,359,316,203	4	極めて高い										
			4,391,766	5	高い										
改善の効果		高い													
33	資源循環の推進	埋立が完了した最終処分場を適正に管理するため、水質調査及び施設の維持管理を行う。	11,860,248	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 埋立は完了しており、処分場を管理するため、水質検査、施設の維持管理をする必要がある。 長田最終処分場跡地については引き続き、処分場用地を返還するための調整をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 処分場を適正管理するため、水質検査及び施設の維持管理を実施した。水質検査の結果は基準値内である。 	<ul style="list-style-type: none"> 処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。 長田最終処分場跡地の返還にあたっては、処分場設置当時は農地として返還することとなっていたが、地権者の高齢化と後継者不足から返還後の土地の活用方法が見出せていない。今後、個々に地権者と話し合いを行い、返還するための方策を検討する。 				
	10603090		10,569,038	1	市民環境部 廃棄物対策課	1,291,210	2	藤井 透							
	最終処分場跡地管理事業		12,662,365	3	高い										
			11,301,394	4	高い										
			1,360,971	5	普通										
改善の効果		普通													